



2022年10月期 第1四半期決算短信

会社名 太陽毛糸紡績株式会社
 EDINET コード E00555 URL <https://taiyo-keito.co.jp>
 本社所在地 埼玉県川口市上青木五丁目5番9号
 代表者 代表取締役社長 内山 正治
 問合せ先責任者 取締役管理部長 太田 仁典 TEL (048) 265-2414
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

2022年3月2日

株主コミュニティ銘柄

(百万円未満切り捨て)

1. 2022年10月期第1四半期の連結業績 (2021年11月1日～2022年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年10月期第1四半期	130	△ 5.3	0	—	5	—	5	—
2021年10月期第1四半期	137	10.1	△ 7	—	△ 2	—	△ 2	—

(注) 包括利益 2022年10月期第1四半期 26百万円 2021年10月期第1四半期 9百万円

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後1株当 たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2022年10月期第1四半期	1	59	—	—
2021年10月期第1四半期	△0	76	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円	百万円	円	%	円	銭	
2022年10月期第1四半期	3,429		1,623		47.3	455	55	
2021年10月期	3,398		1,601		47.1	449	64	

(参考) 自己資本 2022年10月期第1四半期 1,623百万円 2021年10月期 1,601百万円

(3) 連結キャッシュ・フロー状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円	円	百万円	円	百万円	円	銭	
2022年10月期第1四半期	41		△ 10		5		107	
2021年10月期第1四半期	△ 10		△ 2		18		87	

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期		第2四半期		第3四半期		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
2021年10月期	—	—	—	—	—	—	1	50	1	50
2022年10月期	—	—								
2022年10月期(予想)			—	—	—	—	1	50	1	50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年10月期の連結業績予想（2021年11月1日～2022年10月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
第2四半期連結累計期間	270	9	10	9	2	53
通期	620	33	33	32	8	98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2022年10月期1Q	3,589,000株	2021年10月期	3,589,000株
2022年10月期1Q	26,255株	2021年10月期	26,255株
2022年10月期1Q	3,562,745株	2021年10月期1Q	3,562,895株

4. 2022年10月期第1四半期の個別業績（2021年11月1日～2022年1月31日）

(1) 個別経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
2022年10月期第1四半期	118	△ 6.8	4	113.5	7	55.0	7	66.2	2	19
2021年10月期第1四半期	127	7.2	2	—	4	—	4	—	1	32

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
2022年10月期第1四半期	3,446	1,647	47.8	462	53
2021年10月期	3,412	1,624	47.6	456	01

(参考) 自己資本 2022年10月期第1四半期 1,647百万円 2021年10月期 1,624百万円

5. 2022年10月期の個別業績予想（2021年11月1日～2022年10月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
第2四半期累計期間	250	10	11	9	2	53
通期	565	31	31	30	8	42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況	2
(4) 今後の見通し	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7
3. 四半期財務諸表	8
(1) 四半期貸借対照表	8
(2) 四半期損益計算書	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、内閣府発表の2021年10～12月期国内総生産(GDP)実質年率換算値では前期比で5.4%増と2四半期ぶりのプラス成長となりました。新型コロナウイルス新規感染者数の減少傾向が続く、東京都などに発出されていた緊急事態宣言が解除されたことで、個人消費や設備投資が回復し全体を押し上げる結果となりました。しかしながら、いまだコロナ前のGDPの水準を超えるには至っておりません。1月になりますと感染力の強いオミクロン型流行によるまん延防止等重点措置の実施、資源・原材料価格の高騰などで再び停滞の様相を示し、今後の先行きは経済指標の下振れリスクと景気回復の不透明感が強まっております。

繊維業界におきましては、産業資材分野は自動車向けが好調だったほか、苦戦が続いていた航空機向けも欧米の航空需要の回復により復調傾向にあります。衣料品分野では新型コロナの感染が落ち着き消費者の外出機会が増加したことで、おしゃれ着の販売が若干の回復をみました。また、気温低下によりコートなど重衣料に加え、マフラーやストールといった防寒アイテムが好調に推移いたしました。しかしながら1月に入り再度の感染拡大が押し寄せ百貨店をはじめとした実店舗は客足が遠のき、厳しい商戦となりました。

このような不確実さが顕在化する経営環境のなか、当社グループは広範な情報収集をはかり素早い経営判断のもと、即効性に富む事業施策を展開し事業体質の強化に努めてまいりました。特に需要が不透明な市況が続くなか、各事業分野においては原価低減と効率的な業務経費の運用により、安定した収益体質の確立を重点課題として事業展開してまいりました。その結果、売上高130,233千円(前年同期比5.3%減)となりました。収益面では営業利益800千円(前年同期7,476千円の営業損失)、経常利益5,347千円(前年同期2,542千円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益5,669千円(前年同期2,706千円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末比で30,391千円増加し3,429,049千円となりました。流動資産は、前連結会計年度末比で1,555千円増加し467,717千円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金22,038千円、棚卸資産13,638千円のそれぞれ減少、現金及び預金36,258千円の増加であります。

固定資産は、前連結会計年度末比で28,835千円増加し2,961,332千円となりました。主な要因は、投資有価証券の時価評価による28,191千円の増加であります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末比で9,320千円増加し1,806,038千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末比で55,665千円減少し354,088千円となりました。主な要因は、短期借入金の60,000千円の減少であります。

固定負債は、前連結会計年度末比で64,985千円増加し1,451,950千円となりました。主な要因は、長期借入金61,385千円の増加であります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末比で21,071千円増加し1,623,010千円となりました。主な要因は、利益剰余金325千円およびその他有価証券評価差額金20,745千円のそれぞれ増加であります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動および財務活動により得られた資金を投資活動で使用した結果36,258千円増加し107,170千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は41,020千円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益5,833千円、売上債権の減少22,038千円および棚卸資産の減少13,638千円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は10,711千円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出9,941千円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は5,945千円となりました。これは主に長期借入金の借入による収入などによるものであります。

(4) 今後の見通し

2022年10月期の連結業績予想につきましては、当初の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2021年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	70,911	107,170
受取手形及び売掛金	55,460	33,421
商品及び製品	244,413	242,136
仕掛品	9,193	1,715
原材料及び貯蔵品	76,079	72,194
その他	10,181	11,155
貸倒引当金	△ 77	△ 77
流動資産合計	466,161	467,717
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	405,210	396,780
機械装置及び運搬具(純額)	18,433	19,639
土地	2,293,314	2,293,314
建設仮勘定	—	7,334
リース資産(純額)	2,945	2,706
その他(純額)	2,699	2,850
有形固定資産合計	2,722,604	2,722,625
無形固定資産		
ソフトウェア	301	201
電話加入権	1,124	1,124
無形固定資産合計	1,425	1,325
投資その他の資産		
投資有価証券	140,917	169,109
保険積立金	61,721	62,491
繰延税金資産	836	836
その他	4,990	4,944
投資その他の資産合計	208,466	237,381
固定資産合計	2,932,496	2,961,332
資産合計	3,398,658	3,429,049

	前連結会計年度 (2021年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,514	5,365
短期借入金	60,000	—
1年内返済予定の長期借入金	269,107	283,241
1年内返還予定の受入建設協力金	15,730	15,730
リース債務	1,063	1,070
未払金	23,346	22,312
未払費用	57	33
未払法人税等	655	163
未払消費税等	8,208	6,651
その他	22,071	19,519
流動負債合計	409,754	354,088
固定負債		
長期借入金	558,909	620,294
受入建設協力金	102,659	98,726
リース債務	2,308	2,038
繰延税金負債	15,922	23,368
再評価に係る繰延税金負債	546,311	546,311
退職給付に係る負債	10,998	11,356
長期預り敷金保証金	149,854	149,854
固定負債合計	1,386,964	1,451,950
負債合計	1,796,718	1,806,038
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	322,741	322,741
利益剰余金	67,516	67,842
自己株式	△ 1,396	△ 1,396
株主資本合計	488,861	489,187
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	56,833	77,578
土地再評価差額金	1,056,245	1,056,245
その他の包括利益累計額合計	1,113,078	1,133,823
純資産合計	1,601,939	1,623,010
負債純資産合計	3,398,658	3,429,049

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年1月31日)
売上高	137,563	130,233
売上原価	97,495	83,832
売上総利益	40,068	46,401
販売費及び一般管理費	47,544	45,601
営業利益又は営業損失(△)	△ 7,476	800
営業外収益		
受取配当金	2,163	3,614
為替差益	—	4
助成金収入	4,010	2,201
その他	202	313
営業外収益合計	6,376	6,132
営業外費用		
支払利息	1,366	1,265
為替差損	0	—
その他	75	320
営業外費用合計	1,442	1,586
経常利益又は経常損失(△)	△ 2,542	5,347
特別利益		
固定資産税減免益	—	486
特別利益合計	—	486
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	△ 2,542	5,833
法人税、住民税及び事業税	163	163
法人税等合計	163	163
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△ 2,706	5,669
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△ 2,706	5,669

(四半期連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年1月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△ 2,706	5,669
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,033	20,745
その他の包括利益合計	12,033	20,745
四半期包括利益	9,326	26,415
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,326	26,415

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	△ 2,542	5,833
減価償却費	10,502	10,020
受取利息及び受取配当金	△ 2,163	△ 3,614
支払利息	1,366	1,265
為替差損益(△は益)	0	△ 4
固定資産除却損	—	0
固定資産税減免益	—	△ 486
売上債権の増減額(△は増加)	△ 7,870	22,038
棚卸資産の増減額(△は増加)	△ 1,873	13,638
仕入債務の増減額(△は減少)	△ 4,025	△ 4,148
未払消費税等の増減額(△は減少)	△ 5,239	△ 1,556
その他	1,315	△ 3,779
小計	△ 10,528	39,207
利息及び配当金の受取額	2,163	3,614
利息の支払額	△ 1,513	△ 1,145
法人税等の支払額	△ 655	△ 655
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 10,533	41,020
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△ 1,651	△ 9,941
無形固定資産の取得による支出	△ 218	—
保険積立金の積立による支出	△ 770	△ 770
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,639	△ 10,711
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	40,000	△ 60,000
長期借入れによる収入	50,000	150,000
長期借入金の返済による支出	△ 63,878	△ 74,481
建設協力金の返還による支出	△ 3,932	△ 3,932
リース債務の返済による支出	△ 256	△ 263
配当金の支払額	△ 3,479	△ 5,377
自己株式の取得による支出	△ 36	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	18,417	5,945
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0	4
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,243	36,258
現金及び現金同等物の期首残高	81,843	70,911
現金及び現金同等物の四半期末残高	87,086	107,170

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準の適用等)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用について、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しておりますが、利益剰余金の当期首残高への影響はありません。また、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年11月1日 至 2021年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	連結財務諸表計上額
	繊維事業	賃貸事業	物流事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	84,054	49,252	4,256	137,563	—	137,563
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,536	4,661	5,016	11,214	△ 11,214	—
計	85,590	53,914	9,273	148,778	△ 11,214	137,563
セグメント利益又は損失(△)	△ 10,528	26,880	△ 3,114	13,237	△ 20,713	△ 7,476

II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年11月1日 至 2022年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	連結財務諸表計上額
	繊維事業	賃貸事業	物流事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	78,101	—	2,553	80,655	—	80,655
その他の収益(注)	—	49,578	—	49,578	—	49,578
外部顧客への売上高	78,101	49,578	2,553	130,233	—	130,233
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,500	2,666	2,558	6,725	△ 6,725	—
計	79,601	52,244	5,112	136,958	△ 6,725	130,233
セグメント利益又は損失(△)	△ 1,603	26,427	△ 1,308	23,515	△ 22,715	800

(注) その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく不動産の賃貸収入等であります。

報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。

なお、当該変更による当第1四半期連結会計期間の報告セグメントごとの売上高及び利益又は損益金額に影響はありません。

Ⅲ 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間
報告セグメント計	148,778	136,958
セグメント間取引消去	△ 11,214	△ 6,725
四半期連結損益計算書の売上高	137,563	130,233

(単位:千円)

利益	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間
報告セグメント計	13,237	23,515
セグメント間取引消去	—	—
全社費用(注)	△ 20,713	△ 22,715
四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)	△ 7,476	800

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2021年10月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	63,437	101,652
受取手形及び売掛金	52,651	31,563
商品及び製品	244,413	242,136
仕掛品	9,193	1,715
原材料及び貯蔵品	76,079	71,678
その他	7,835	9,497
流動資産合計	453,609	458,244
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	372,805	365,379
構築物(純額)	32,404	31,401
機械及び装置(純額)	18,433	19,639
工具、器具及び備品(純額)	2,092	2,365
土地	2,293,314	2,293,314
建設仮勘定	—	7,334
その他(純額)	607	484
有形固定資産合計	2,719,659	2,719,919
無形固定資産		
ソフトウェア	301	201
電話加入権	1,124	1,124
無形固定資産合計	1,425	1,325
投資その他の資産		
投資有価証券	140,917	169,109
関係会社株式	30,000	30,000
保険積立金	61,721	62,491
その他	4,990	4,944
投資その他の資産合計	237,630	266,545
固定資産合計	2,958,714	2,987,789
資産合計	3,412,323	3,446,034

	前事業年度 (2021年10月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,726	7,202
短期借入金	60,000	—
1年内返済予定の長期借入金	269,107	283,241
1年内返還予定の受入建設協力金	15,730	15,730
未払金	17,927	17,709
未払費用	57	33
未払法人税等	290	72
未払消費税等	7,206	4,726
その他	19,967	19,531
流動負債合計	403,014	348,249
固定負債		
長期借入金	558,909	620,294
受入建設協力金	102,659	98,726
繰延税金負債	15,922	23,368
再評価に係る繰延税金負債	546,311	546,311
退職給付引当金	10,998	11,356
長期預り敷金保証金	149,854	149,854
固定負債合計	1,384,655	1,449,911
負債合計	1,787,669	1,798,160
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	322,741	322,741
利益剰余金	90,231	92,704
自己株式	△ 1,396	△ 1,396
株主資本合計	511,575	514,049
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	56,833	77,578
土地再評価差額金	1,056,245	1,056,245
その他の包括利益累計額合計	1,113,078	1,133,823
純資産合計	1,624,654	1,647,873
負債純資産合計	3,412,323	3,446,034

(2) 四半期損益計算書

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年1月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年1月31日)
売上高	127,477	118,764
売上原価	74,383	66,406
売上総利益	53,093	52,358
販売費及び一般管理費	51,091	48,082
営業利益	2,002	4,275
営業外収益		
受取配当金	2,163	3,614
助成金収入	1,822	762
その他	201	316
営業外収益合計	4,187	4,692
営業外費用		
支払利息	1,337	1,243
その他	76	320
営業外費用合計	1,414	1,564
経常利益	4,776	7,403
特別利益		
固定資産税減免益	—	486
特別利益合計	—	486
税引前四半期純利益	4,776	7,890
法人税、住民税及び事業税	72	72
法人税等合計	72	72
四半期純利益	4,703	7,817